

平成 17 年 5 月 11 日

< 参考資料 >

日本歯磨工業会
東京都中央区日本橋小伝馬町 2-4
三報ビル 7 階

< お昼の歯みがきキャンペーン アンケート集計報告 >

お昼の歯みがき率は 43.2%--女性 48.3%に対して男性は 30.3%

日本歯磨工業会（会長 高橋達直）では、2000 年より「お昼の歯みがきキャンペーン」の第 2 期として、インターネット上にキャンペーンのためのホームページ「お昼休みみがこうネット」を開設しています。この中で展開している「OL お昼の歯みがき宣言」へ参加していただいた方を対象にお昼の歯みがき行動に関連したアンケートを実施しています。

この度、2000 年～2004 年までのアンケートの回答を集計しましたのでご報告します。アンケート結果の概要は以下のとおりです。

お昼の歯みがきキャンペーン アンケート集計報告 トピックス

1. お昼に歯をみがいている人の割合（お昼の歯みがき率）は全体で 43.2%。
2. 男女別では、女性のお昼の歯みがき率は 48.3%と高かったのに対して、男性は 30.3%と女性と比較すると低い。
3. 男性でもっともお昼の歯みがき率が高いのは 60 歳以上で 34.2%。女性は 20 代が 50.0%と最も高く、続いて 30 代女性の 48.1%。
4. 女性の年代別では、20 歳未満がお昼の歯みがき率が低いのに対して、20 代になるとお昼の歯みがき率は飛躍的に向上する。（20 歳未満 28.8% 20 代 50.0%）
5. 20 代・30 代女性会社員のお昼の歯みがき率は 52.2%。同年代の主婦は 38.7%と会社員の方が高い。
6. 洗口液・液体歯磨の使用については、お昼に歯をみがく人は「使っている」20.8%（みがかない人 15.0%）、「以前使っていた」50.3%と使用率が高い。お昼に歯をみがかない人は、「知っているが使ったことはない」34.3%（みがく人 27.8%）。

*数値を平均で示しているものは、2000 年～2004 年のデータを加重平均した値です。

日本歯磨工業会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 2-4 三報ビル 7F TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513

1. お昼に歯をみがいている人の割合(お昼の歯みがき率)は全体で 43.2%

お昼に歯をみがいている人の割合(お昼の歯みがき率)は、平均(5年間総数の加重平均値)で 43.2%。現在の日本人の一般的な姿として、43.2%の人がお昼に歯みがきをしている様子が見えてくる。

2. 女性のお昼の歯みがき率は 48.3%、男性は 30.3%

男女別では、女性のお昼の歯みがき率は、この 5 年間の平均(加重平均)で、48.3%と高かったのに対して、男性は 30.3%と女性と比較すると低い。女性は、50%を上回った年もあった。また、男性は、女性と比較するとお昼の歯みがき率はまだまだ低いが、年度ごとにみると徐々に上昇していた。

3. 男性でもっともお昼の歯みがき率が高いのは 60 歳以上で 34.2% 女性は 20 代が 50.0%と最も高く、続いて 30 代の 49.3%

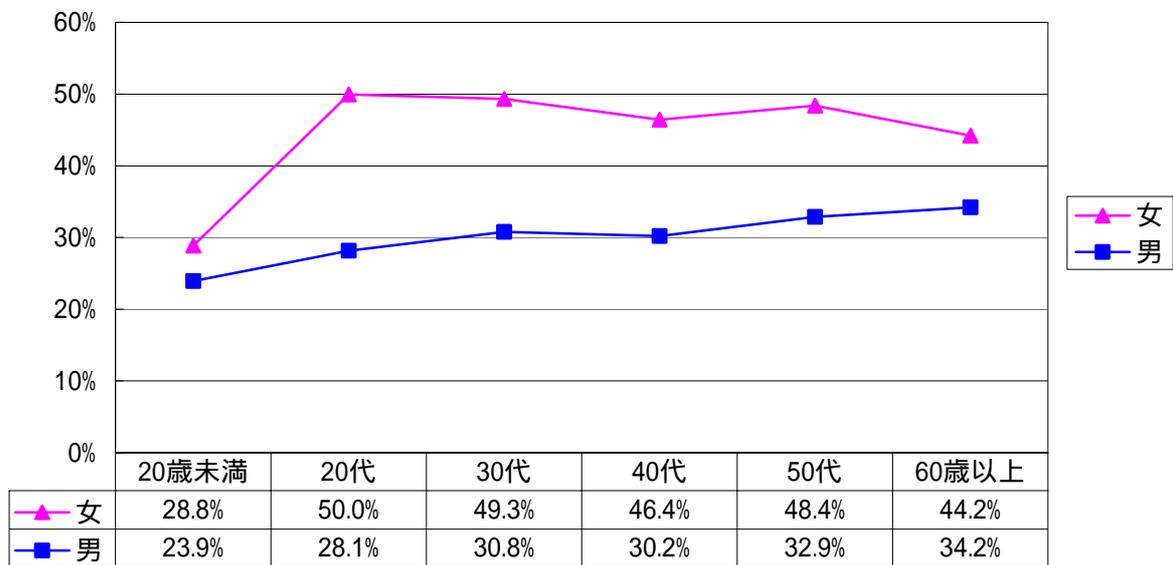
男女別年代別の 5 年間の平均(加重平均)をみると、男性はどの年代もお昼の歯みがき率は 30%前後だが、その中で一番みがき率が高いのは 60 歳以上(34.2%)、続いて 50 代(32.9%)と年代が高い方がお昼の歯みがき率が高かった。

同様に女性は 20 代が最も高く 50.0%、続いて 30 代の 49.3%。女性は 20 歳未満が 28.8%だが、この年代を除くといずれの年代も 45%前後のお昼の歯みがき率だった。

4. 女性は、20歳未満が20代になるとお昼の歯みがき率が飛躍的に向上する

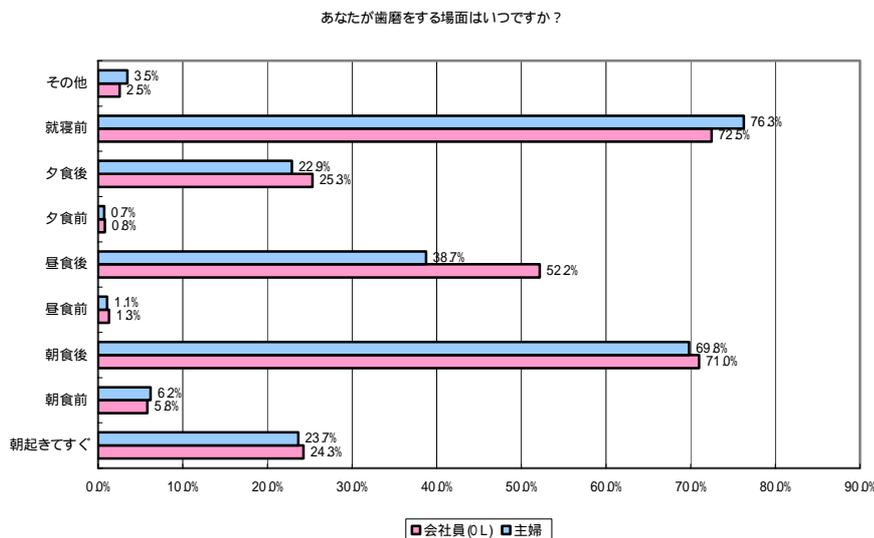
女性の年代別では、20歳未満がお昼の歯みがき率が低いのに対して、20代になるとお昼の歯みがき率は飛躍的に向上する（女性20歳未満28.8% 20代50.0%）。男性も20歳未満から20代を比較すると（男性20歳未満23.9% 20代28.1%）向上はしているが、その伸び率は女性の方がずっと高い。

男女別年代別歯みがき率



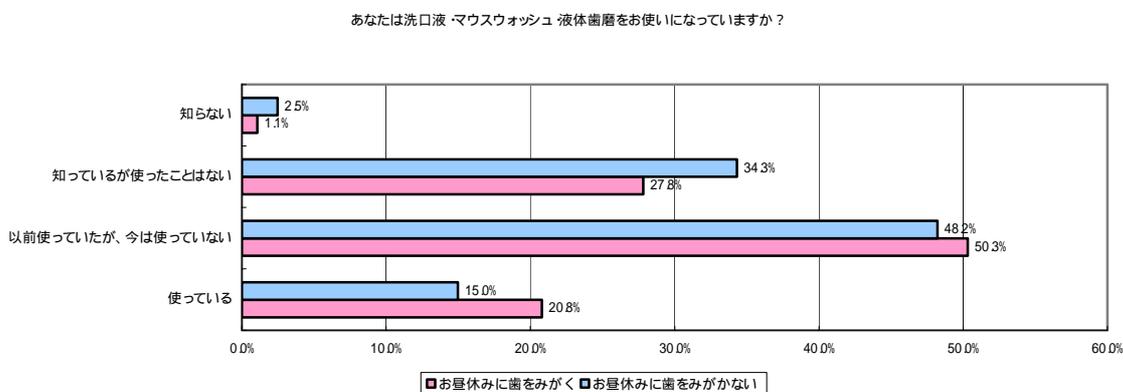
5. 20代・30代女性会社員のお昼の歯みがき率は52.2%、同年代の主婦は38.7%

20代・30代女性の会社員と主婦を比較してみると、会社員のお昼の歯みがき率は52.2%。主婦は38.7%と会社員よりも低い。1日に歯をみがく回数も、会社員は3回が44.2%（主婦31.2%）と最も高く、対して主婦は2回が51.8%（会社員40.9%）で一番高かった。



6. お昼に歯をみがく人は洗口液・液体歯磨を「使っている」20.8%

洗口液・液体歯磨の使用について、20代・30代女性のお昼に歯をみがく人とみがかない人を比較すると、みがく人は「使っている」20.8%（みがかない人15.0%）、「以前使っていた」50.3%と使用率が高い。お昼に歯をみがかない人は、「知っているが使ったことはない」34.3%（みがく人27.8%）で、相対的にお昼に歯をみがく人の方が使用に積極的だった。



【考 察】

1999年の厚生労働省「歯科疾患実態調査」によると、ムシ歯の有病者率は、11歳以下のこどもは減少しているものの、成人はまだ高く20歳～64歳では90%以上がムシ歯有病者です。また、ハグキの状態もあまりよくなっておらず、25歳以上の80%以上は歯周病有病者です。

ムシ歯予防も歯周病予防も大切なのは毎日の歯みがきです。当工業会では、お昼の歯みがき率向上のために、1996年より「お昼の歯みがきキャンペーン」を独自に展開し、2000年からは、20～30歳代の女性をメインターゲットにしたホームページでのキャンペーンサイト「みがこうネット」を立ち上げて、キャンペーン活動強化に取り組んできました。

キャンペーンスタート時のお昼の歯みがき率は30%弱（当工業会調べ）でしたが、今回まとめた集計結果をみると全体では43.2%と確実に高くなっています。

しかし、この4年間では推移に大きな変化がなく、また、男性の歯みがき率は女性と比較するとまだまだ低い傾向にあります。

さらに、年代別に見ると、男女ともに20歳未満のお昼の歯みがき率が低く、20歳代になるとその率は高くなることから、20代になってからの意識の変化やライフスタイルの変化が歯みがき行動に影響を与えている様子がうかがえます。また、20歳未満の若者とこどもの世代を教育することによって、今後、お昼の歯みがき率が男女ともに向上する可能性も考えられます。

一方、20代、30代女性だけを取り出したデータでは、会社員のほうが主婦よりもお昼の歯みがき率が高く、会社員の方が生活習慣の中にお昼の歯みがきを取り入れやすい傾向にあるようです。また、お昼に歯をみがく人とみがかない人の比較では、お昼に歯をみがくの方が液体歯磨の使用率、歯科医院へ行く頻度などがいずれも高く、オーラルケアへの意識の高さがうかがえます。

これらのデータからもこの「お昼の歯みがきキャンペーン」を今後も継続推進することにより、工業会としてオーラルケア全体の向上に貢献できるものと考察します。

当工業会では、今後もさまざまなキャンペーンや啓発活動を通じて、ムシ歯・歯周病予防の貢献につとめてまいります。ホームページにおいても情報発信活動を行っていますので、ぜひ、ご覧ください。

URL <http://www.hamigaki.gr.jp>

【アンケート概要】

- 1．アンケート対象及びサンプル数：全国に居住する男女 46,543 人
- 2．アンケート方法：インターネットホームページに掲載したアンケート
- 3．調査実施期間：2000 年 5 月～2004 年 10 月
- 4．アンケート項目

Q1 あなたは 1 日に何回くらい歯をみがきますか？

Q2 あなたが歯磨きをする場面はいつですか？

Q3 あなたは 1 回の歯磨きにどのくらい時間をかけていますか？

Q4 ブラシにどのくらい歯磨剤をのせていますか？

Q5 あなたが歯をみがく理由をお答えください。

Q6 あなたはむし歯を予防することについて、どの程度重視していますか？

Q7 あなたは歯を白くすることについて、どの程度重視していますか？

Q8 あなたは洗口液・マウスウオッシュ・液体歯磨をお使いになっていますか？

Q9 あなたはご自分が歯周病にかかっていると思われていますか？

Q10 あなたは歯医者さんにどの程度の割合でかかっていますか？

【添付資料】

- < 資料 1 > お昼の歯みがき率および男女別年代別お昼の歯みがき率全体のデータとグラフ
- < 資料 2 > 男女別年代別お昼の歯みがき率グラフ
- < 資料 3 > 2003 年度 20 代・30 代女性の会社員と主婦を比較
- < 資料 4 > 2003 年度 20 代・30 代女性のお昼休みにみがく人とみがかない人を比較

本件のお問い合わせ先

日本歯磨工業会

横川毅勇

TEL 0 3 (3 2 4 9) 2 5 1 1